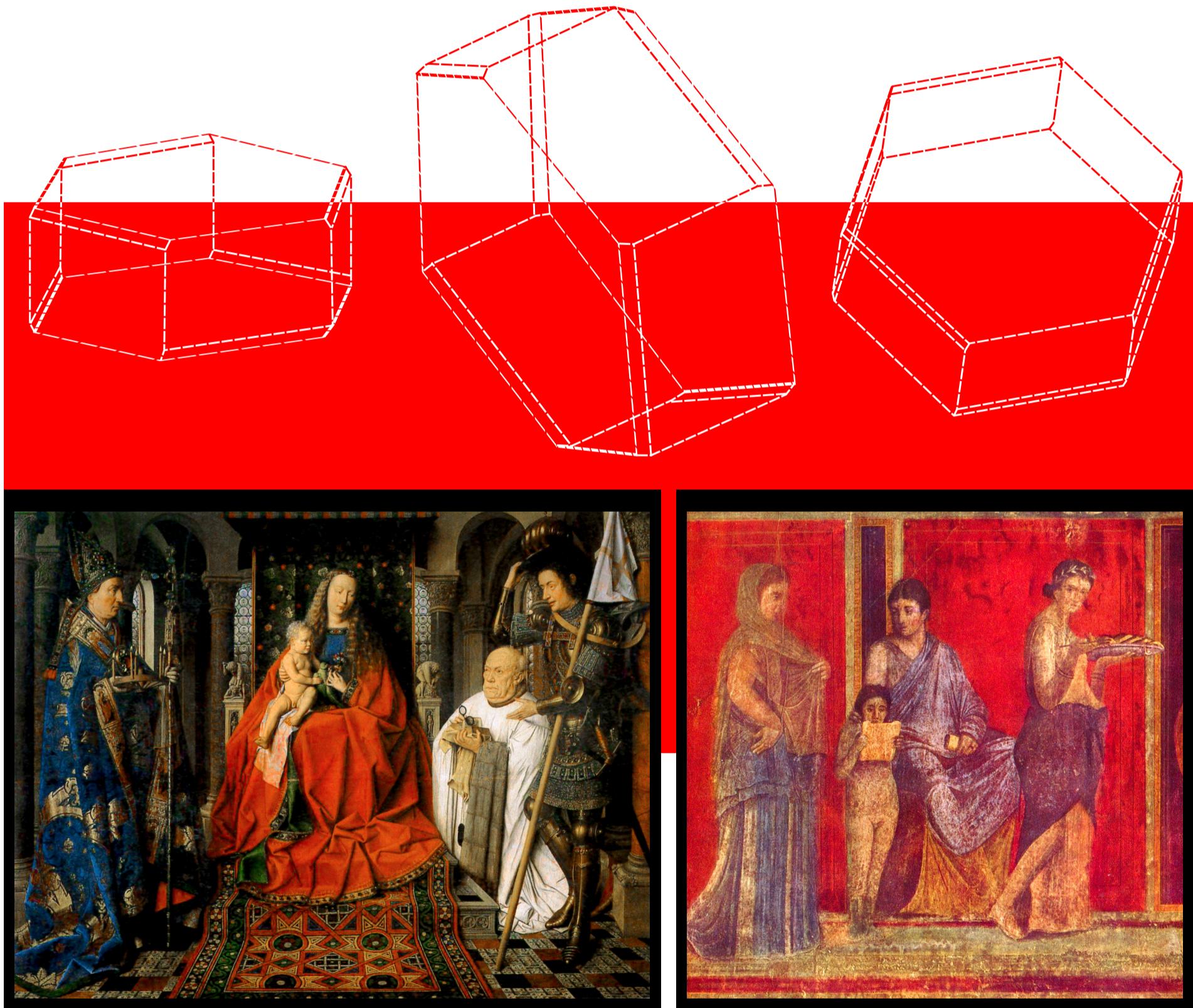


斎藤清美術館 館長講座

赤をめぐる美術史

数万年前の洞窟壁画に始まり、古今東西の文化で特に神聖な色とされてきた「赤」。魔除け、生命、欲望……人間がこの色に込めてきた思いを名画とともに読み解きます。



ヤン・ファン・エイク「ファン・デル・パーレの聖母子」(1434-1436) 油彩 グルーニング美術館

「ディオニュソスの秘儀」(70B.C.-50B.C.) フレスコ ポンペイ、秘儀荘

2月1日(土) 13:00 ~ 14:30

斎藤清美術館長 佐々木 吉晴
ささき よしはる

東北大学文学部哲学科美学西洋美術史専攻卒業。西洋と日本の近現代美術を専門とする。宇都宮美術館長、いわき市立美術館長を兼任。